

2009. 9. 29 第54号



地域づくりコミュニケーション
— 農村振興メールマガジン —

農林水産省農村振興局



◆◇ 目次 ◇◆

【 農村振興支援情報 】

■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇みどりと歴史を育む交流の里くろいわ

— 「湧湧（わくわく）ランドくろいわ芸・農・まつり」を開催—
～岩手県北上市「あすの黒岩を築く地域協議会」～

◇ゆっくりのんびり各駅停車の旅 —五感で楽しむグリーン・ツーリズム—
～静岡県島田市、川根本町～

◇市民団体や事業者の連携で持続可能な資源循環型社会の構築
～石川県加賀市「資源エコロジーリサイクル事業協同組合」～

◇市民農園の事例

～徳島県三好市「三好タウン愉流里（ゆるり）」～

■ 報告・お知らせ

◇「ふるさと子ども夢学校」現地研修会の実施報告

◇季刊「新往来第34号」を発行（9／18）

◇「ふるさと回帰フェア2009」の開催報告（9／23）

◇第7回「オーライ！ニッポン大賞」の募集（9／28～12／18）

◇グリーン・ツーリズム推進連絡会議の開催（10／2）

◇「中山間地域フォーラム in くまもと」のご案内（10／10）

■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇みどりと歴史を育む交流の里くろいわ

－「湧湧（わくわく）ランドくろいわ芸・農・まつり」を開催－
～岩手県北上市「あすの黒岩を築く地域協議会」～

北上市黒岩地区は、北上川東岸に位置する中山間地域で、米、リンゴ、芋の子、トマト等の生産が盛んな農村地帯です。

黒岩地区には、「お滝さん」と呼ばれる滝があり、その周辺は、地域住民によって整備され、四季を通して様々な景色が楽しめる憩いの場となっています。

このような自然あふれる地で、「あすの黒岩を築く地域協議会」は、地域の豊かな自然・歴史・文化・民俗芸能等を守り、活用し、誰もが安心して希望をもって暮らせる「里づくり」計画を進めています。

その一環として、10月18日（日）には、黒岩2大祭の1つ「湧湧ランドくろいわ芸・農・まつり」が開催されますので、ぜひ、皆さんも足を運んでみてください。

本協議会の取組の詳細については、次のホームページをご覧ください。

<http://user.ginga-net.ne.jp/~kuro-k/>

「湧湧ランドくろいわ芸・農・まつり」に関する問い合わせは、以下までお寄せください。

黒岩地区交流センター 電話：0197-64-7525

（東北農政局農村計画部農村振興課）

◇ゆっくりのんびり各駅停車の旅 ー五感で楽しむグリーン・ツーリズムー
～静岡県島田市、川根本町～

農山漁村の重要な公共交通機関である地方鉄道は、モータリゼーションの進展等に伴い利用者が減少し、その多くは極めて厳しい経営を強いられています。

本取組は、地域に根ざした公共機関である静岡県の大井川鐵道が中心となって、域内資源を活用したグリーン・ツーリズムを企画し、地域内発型の新たな交流ビジネスを創出する仕組みを検討するものです。

具体的には、モデルツアーの実施や体験プログラムの開発等に取り組んでいます。

取組の詳細については、次のホームページをご覧ください。

http://www.kouryu.or.jp/yukkur i/index.html#block_top2

(関東農政局農村計画部農村振興課)

◇市民団体や事業者の連携で持続可能な資源循環型社会の構築

～石川県加賀市「資源エコロジーリサイクル事業協同組合」～

石川県加賀市では、廃食用油のリサイクルを推進することを目的に、1982年より廃食用油の回収に取り組んでいます。平成19年3月には、これまでの実績とノウハウを活用して、①地域の環境への取り組みを市民や観光客にアピールするための新しい利用方法や、②市民の目に見える形での還元方法を検討することを内容とした「加賀市バイオマスタウン構想」が策定されました。

これに基づき、資源エコロジーリサイクル事業協同組合では、今年度、地域バイオマス利活用交付金を活用し、廃食用油をバイオディーゼル燃料に変換する施設を加賀市内に設置し、地域の農家の農業施設の燃料として活用することで、目に見える形での廃食用油のリサイクルに取り組めます。

将来的には、遊休農地で菜種等を栽培し、農産物の地産地消だけでなくエネルギーの地産地消にも取り組んでいこうとしています。

加賀市バイオマスタウン構想は、次のホームページをご覧ください。

http://www.biomass-hq.jp/biomasstown/pdf34/34_14.pdf

(北陸農政局地域整備課)

◇市民農園の事例

～徳島県三好市「三好タウン愉流里（ゆるり）」～

「三好タウン愉流里」は、農村と都市住民の交流による農村地域の活性化を目的として、平成20年に特定非営利活動法人ふるさと力（ちから）が徳島県三好市に開設し、管理・運営する滞在型の市民農園です。

同農園には、約100平方メートルの菜園と簡易宿泊施設を備えた区画が計

11区画設置され、管理棟や共用の休憩所も併せて整備されています。また、近隣には、菜園付き分譲住宅も計10棟整備されており、余暇を利用して宿泊しながら農作業を楽しみたい方だけでなく、将来田舎への定住を考えている方などにも対応しています。

三好市は、大歩危峡（おおぼけきょう）や祖谷（いや）のかずら橋などの豊かな自然や観光地に恵まれています。また、同農園からはスーパーや銀行など生活に必要な施設への交通アクセスも良く、農村生活を快適に楽しむことができます。

「三好タウン愉流里」の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.12hurusato.jp/hi-tikara.html>

また、全国市民農園リスト等、市民農園に関する情報は、農林水産省ホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/simin_noen/index.html

（都市農村交流課都市農業第2班）

■ 報告・お知らせ

◇「ふるさと子ども夢学校」現地研修会の実施報告

現在、農林水産省、文部科学省、総務省の3省連携で「子ども農山漁村交流プロジェクト（愛称：ふるさと子ども夢学校）」を進めているところです。

この度、小学校の教育現場における本プロジェクトへの理解促進のため、小学校の教員を対象とした「ふるさと子ども夢学校」現地研修会が、福島県の「喜多方市体験活動推進協議会」、長野県の「北信州みゆき野子ども交流推進協議会」及び「南信州セカンドスクール研究会」、奈良県の「高野ほんまもん体験協議会」、大分県の「宇佐市ツーリズム推進協議会」の5箇所で開催されました。

研修会では、子どもたちが体験する内容と同様の体験を行ったほか、意見交換等が行われました。

詳細は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.ohrai.jp/kodomo/index.html>

（都市農村交流課グリーン・ツーリズム班）

◇季刊「新往来第34号」を発行（9／18）

地域からの情報提供をもとに、年4回発行している都市と農村の交流情報誌、新往来第34号を発行しました。本誌では、都市と農村の地域間交流をテーマに地域が行っているさまざまな取組やイベント情報等を紹介しており、今号では、農林水産物直売所を核とした取組のほか、今年10月～12月に開催予定の地域のイベント情報等を掲載しています。

詳細については、こちらのホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>

（農村計画課農村政策班）

◇「ふるさと回帰フェア2009」の開催報告（9／23）

9月23日（水）、早稲田大学本部キャンパス（10号館）において「ふるさと回帰フェア2009」が開催され、ふるさと回帰を創出するための様々な情報発信、取組が行われました。

具体的には、「田舎で働き隊！」事業に関する宮台真司氏（首都大学東京教授／社会学者）による基調講演やパネルディスカッションのほか、同事業の派遣研修生による経験談、相談会を開催することにより、事業のPRを行いました。

詳細については、次のホームページをご覧ください。

<http://www.furusatokaiki.net/fair2009/>

（都市農村交流課定住促進班）

◇第7回「オーライ！ニッポン大賞」の募集（9／28～12／18）

オーライ！ニッポン大賞の募集が間もなく始まります。

オーライ！ニッポン大賞では応募事例の幅を広げるとともに、「オーライ！ニッポン大賞」の更なる普及を行うため、民間企業、民間団体、各省等で実施されている各表彰事業と連携し、本表彰事業の趣旨と合致すると思われる事例の推薦枠を設けます。連携する表彰事業からご推薦頂いた事例は、「オーライ！ニッポンフレンドシップ賞」と同時に「オーライ！ニッポン大賞グランプリ」候補として、審査の対象となります。

応募期間は9月28日(月)～12月18日(月)までです。皆様のご応募お待ちしております。

詳細は、オーライ！ニッポン会議のホームページをご覧ください。

<http://www.ohrai.jp/>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

◇グリーン・ツーリズム推進連絡会議の開催(10/2)

農林水産省と観光庁では、観光関係者と農村地域が連携し、新たな旅行ニーズに対応した地域のグリーン・ツーリズムの取組を推進することにより、都市農村交流の拡大および観光を通じた地域振興を図ることとしています。

これに関連して、観光関係者と農村地域との連携を推進するため、観光庁の「国内観光旅行の振興に関する連絡会議」の下に独立プロジェクト「「ようこそ！農村プロジェクト」推進連絡会議(グリーン・ツーリズム推進連絡会議)」を立ち上げ、本連絡会議を開催することになりました。

開催日時は、10月2日(金)14時～17時です。場所は、金融庁第2特別会議室になります。傍聴希望の方は、以下へお問い合わせください。

農林水産省農村振興局都市農村交流課

担当：飯川、横銭

電話：03-3502-8111(内線5447)

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

◇「中山間地域フォーラムinくまもと」のご案内(10/10)

中山間地域の再生を支援すべく産学官の有識者が連携し活動している中山間地域フォーラム(会長：佐藤洋平東京大学名誉教授)では、「多面的機能から中山間地域を考える」と題して、以下のとおりシンポジウムを開催いたします。

○日時：2009年10月10日(土)13:00～17:30

○会場：熊本県立大学大ホール

参加を希望される方は、以下へお問い合わせください。

○熊本県立大学地域連携センター(TEL 096-321-6612)

○ 熊本県農林水産部農村整備課（TEL 096-333-2415）

また、本シンポジウムのプログラム等、詳細については以下のホームページをご覧ください。

http://www.pu-kumamoto.ac.jp/site2006/pdf/houdousiryoyou/H21_houdou/0903_forum_tyusankan.pdf

（中山間地域振興課調査調整班）

◆◆ 編集後記 ◆◆

秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋。

昨今のスポーツ界では、テニスプレイヤーの伊達公子や自転車ロードレーサーのランス・アームストロングのように、一度引退したものの現役に復帰し、ブランクを感じさせない高いパフォーマンスを発揮している選手がいます。

皆様方も過去に取り組んでいたものの、何かの理由により手つかずとなっているものがありましたら、この機会に再度取り組んでみてはいかがでしょうか。

（M）

◆◆ ご意見をお寄せ下さい ◆◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能なかぎり回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問い合わせについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課（担当）増田

TEL：03-3502-6001 FAX：03-3501-9580
